

オリーブの会通信

2019年2月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



新年最初の機関誌を発行することができましたが、平成最後のお正月を皆様方はどのように迎えたのでしょうか。

昨年暮れに、KHJ本部から全国一斉に各自治体に対して要望書の提出につき提案があり、その前段としての県当局との調整過程で『先般、KHJ香川県オリーブの会から要望のあったひきこもり実態調査については全県下で来年早々に実施する』旨の話がありました。

当会が長年にわたり行政に対して要望し続けてきた、香川県独自のひきこもり実態調査がようやく行われることになり実に感慨ひとしおのがあります。

今回の実態調査の主体となる民生委員・児童委員に対しては、県内17市町のうち既に7～8の市町でひきこもりについての研修会を実施し、香川県・ひきこもり地域支援センター・登録ひきこもりサポーターによってそれぞれの立場から講話等がなされ『ひきこもり』に対する理解促進についての対応もなされております。

調査期間は1月～2月で年齢対象は64歳未満、民生委員・児童委員による家庭訪問はしないなど調査の方式が具体的に示されていますが、調査結果がどのように出るのか極めて関心が高まります。

ただ、民生委員・児童委員がどこまで地域の実態を知り、ひきこもり対象者を把握しているかが調査結果に反映されるだけに、集約結果の数値がどこまで実態を把握できているかは判断が難しいものがあるだろう。

ひきこもり家族である当会の中にも、自分の子どもは果たしてひきこもりとしてカウントされるのかという疑問をもつ親が多い。

しかし、公表されるかどうかは別にして実態調査の結果は各市町単位で必ず数値として出ます。

いよいよ、ここからが香川県のひきこもり施策のスタートではないかと考えられ、私たちの会としても大切な時期を迎えることとなります。

ところで、香川県においては平成27年度から県社会福祉協議会が『香川おもしろネットワーク』事業を始めて既に4年を迎えています。また、高松市でも平成30年度から『地

域共生社会の実現に向けて』(ほっとけん市民みんなでつくる・ほっとかんまち高松) 事業が始まっています。これらの事業は国の推進する地域の生活の課題を「我がこと・丸ごと」包括的支援する事業の流れに呼応したものであります。

ひきこもり者・家族はこれらの施策の対象者として捉えられているのでその動向に注目して具体的な社会的資源(機関)をしっかりと把握して必要に応じて有効活用することはもとより、必要時に直ぐに利用できるようにしておくことが大切です。

ひきこもり当事者・その家族である私たちが、将来にわたり決して地域で孤立することのないよう、支援(被支援)体制を把握・確立し安心して暮していくことができる地域づくりの形成を目指して共に活動を継続していきましょう。

第200回月例会ご案内

日 時	2019年2月24日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel:087-867-7686
内 容	<p>☆第1部 13:30~ 会からの報告 13:35~ 講 演 テーマ 『青年後見人制度について』 講師 : 時 岡 信 一 氏 社会福祉士 NPO 法人手をつなぐ香川後見センター代表</p> <p>15:00~15:15 休憩</p> <p>☆第二部 15:15~16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	会員1家族 : 1,000円 会員以外 : 1,500円

第201回月例会ご案内

日 時	2019年3月24日（日）13：30～16：30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686
内 容	☆第1部 13:30～ 会の諸報告 13:35～ 講演 テーマ『親子の縁』 講師：嶺 宝珠 氏 元精神科医師、カウンセラー 15:00～15:15 休憩 ☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円

第199回月例会（12月17日）の概要

12月の定例会は初めての試みとして忘年会的な趣を持たせるため、果物・お菓子類を用意し（弁当は各自持参）参加者全員で会食という通常の例会とはがらりと雰囲気変わったものになりました。

従来、12月は月例会終了後に希望者がお店に集い忘年会をするのを常にしてきましたが、会員の年齢や夜間の帰途の安全等を考慮し委員会での協議を経、数名の実行委員会で具体的プログラム検討の結果行ったものでした。

最初に、「今年一年を振り返って」と題して参加者全員に一言ずつ話してもらいました。

Aさん：広島で開かれた全国大会（KHJ 全国親の会研修会）に参加して印象に残ったのは池上正樹さんの講演でした。80・50問題は他人事でない。もし親が死んだら自分の子どもは生きていけるだろうか。

話にあった横浜市の悲惨な事件は身につまされる。

早速、息子にスマホを買って連絡先の番号を教えて今、電話の掛け方の練習をしている。

— 県外で開催された研修会に初めて出席したが、思い切って参加してよかったと思っている。 —

Bさん：今年に入って子どもが自分でチラシをみてアルバイトに行き始めた。

「ハローワークに行ったら」と薦めると「よう断らんから」という理由で行かない。

採用面接で、履歴書の空白欄を尋ねられた時には「何も応えられなかった」と言っていた。

現在は高松市内の大型百貨店でアルバイトをしている。親として心配ではあるが子どもは今年一年で大きく変化した。

Cさん：子どもが最近知り合いと一緒に農作業に行くようになった。

香川県の紹介でセルプ(授産協会) が農協と協力してネギやニンニクの植え付けなどを行っている作業に参加するようになった。

○ みんなの話聞く中で、今年一年少しずつではあるが、それぞれが前に向かって進んでいる様子を伺い知ることができた。

○ お楽しみのプログラムでは、細川さんの指導によって手話の動作をつけながら全員で「ふるさと」の曲を歌った。

また、尺八の独奏やギターも加わり一緒に「知床旅情」を斉唱したりして、楽しい時間を過ごし一年の最後にふさわしい例会となりました。

— 実行委員の皆様楽しい会をありがとう。 —



お知らせコーナー

そのI

香川県ひきこもり者実態調査

- ・ 民生委員・児童委員に対するアンケート調査により行う。
- ・ 調査で対象者とする方は国のガイドラインに準じる。
- ・ 調査基準日 平成31年1月1日
- ・ 民生員・児童委員の戸別訪問は行わない。

- ・ 調査票の提出期限は本年2月末。
- ・ 調査結果の発表：本年4月以降の見込み

その2

サポーター・フォローアップ研修

2月10日（日）午後1時～4時の間、講師に精神科医師の榎本百合子先生を迎え今年度最後のひきこもりサポーターフォローアップ研修が県社会福祉総合センター7F開かれます。当会会員であればサポーター以外であっても聴講ができますので是非申込みの上ご参加をお勧めします。（申込先：川井）

その3

今春の定時総会は5月26日（日）午後開催の予定です。是非ご出席いただけるように予定をお願いします。（従来よりも約1カ月遅らせ、より一層充実した総会の開催を目指します。）

【2月以降の各会等の予定】

（相談窓口・傾聴サロン）

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 （来所相談も可）※先ずは☎ 087-802-2567をお待ちしています － 第5土曜日は全て休みです －	2	2、9、16、23	土	10：00～16：00	泉・川井ほか
	3	2、9、16、23	土	10：00～16：00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先：☎ 087-802-2567 － 第1・3土曜日に行います －	2	2、16	土	13：00～16：00	サポーター登録者・平野
	3	2、16	土	13：00～16：00	サポーター登録者・平野

（理事会・運営委員会等）

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第12回運営委員会	2	16	土	13：30～16：30	
第13回運営委員会	3	16	土	13：30～16：30	
第1回運営委員会	4	20	土	13：30～16：30	
第2回運営委員会	5	18	土	13：30～16：30	

*ポパイの会（居場所活動）予定は、別途印刷の同封パンフをご活用ください